



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

秋山孝ポスター美術館 長岡

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8 TEL・FAX 0258-39-1233

E-mail info@apm-nagaoka.com http://apm-nagaoka.com

第19回企画展 「イラストレーション・ダイアログ 6年間の試み」展 プレスリリース vol.2

2015-03-29

第19回企画展

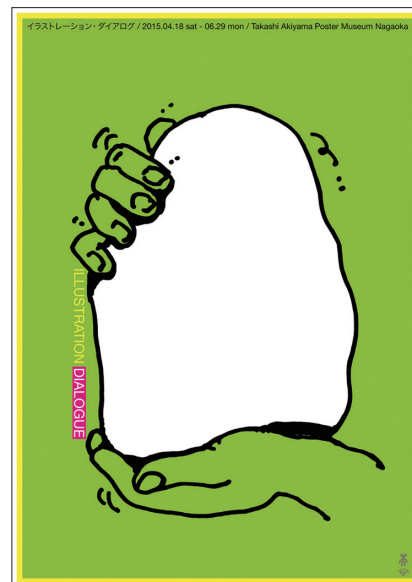
イラストレーション・ダイアログ
6年間の試み 展

Six years attempt of Illustration Dialogue Exhibition

2015年4月18日(土) - 6月29日(月)

11:00-17:00 (入館は閉館の30分前まで)

火曜休館 / 入館無料



展覧会ポスター デザイン:秋山孝

秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、第19回企画展として「イラストレーション・ダイアログ 6年間の試み」展を開催します。展覧会は、高橋庸平の企画「イラストレーション対話展」6年間の成果を検証するものです。2009年4月24日に第1回「シルエット展」を渋谷区神宮前にあるPATER'S Shop and Galleryにおいて開催し、継続的に毎年行なっています。この対話(ダイアログ)と題した展覧会の特徴は、高橋庸平が1人のクリエイターを選び2人展という形式で対比できるように展示し、その考えや表現の違いが明らかになるよう配慮されています。それを対話(ダイアログ)と位置づけています。その選ばれた作者は第1回が伊藤彰剛(シルエット)、第2回末房志野(プリミティブとシンプル)、第3回高橋真理(メッセージ)、第4回小川雄太郎(ポスター)、第5回御法川哲郎(ポスターの機能と表現)、第6回千田昇平(生命の視点)と続いています。

今までにはくは2人で開催する2人展を多く見てきましたが、あまり魅力的なものはありませんでした。個性のぶつかり合いや主張の違いなどがあれば良いのですが、ほとんどが仲良しごっこな覇気のない、ただ並べてあるだけのものでした。そこには表現の鏝迫り合い、互いに激しく競い合う気迫のこもったものではありませんでした。高橋庸平からこの企画の話聞いた時に、ほとんど期待はしていませんでした。ところが6年間定期的に展覧会を見ると、そこには新たな地平が浮かび上がってきました。それは高橋庸平が刺激され大きく変化していく姿を垣間見ることができたからです。一方、声をかけられた相手からも確かな技術力を持って対峙しようと試みる姿が、そこにありました。ということは確かに今まで見なかった精神の高ぶりが作品制作に現れ出ていることも明らかでした。

いったい何を対話(ダイアログ)しているのか、それは何なのか?疑問として登場してきました。ぼくたちは1人では生きていません。つまり刺激あったり影響を与えたり、それらを受けたりするやり取りの間の質の問題に突き当たりました。その両者の意識の高さが重要で、これを適当で曖昧にすれば、この魅力は半減する以下の結果になってしまいます。この緊張感のある表現者の言葉にならない感覚世界の放出力が問われます。しかしそんななかで高橋庸平は相手の能力までも飲み込んでしまいそうな勢いで、ダイアログ展を繰り返し行ないました。

2012年5月の第4回展のカタログに「庸平君、雄太郎君への秋山孝10の質問」と題したQ&Aを試みました。そのQ&Aの中で「庸平君は対話というタイトルでポスターをテーマにしたのは何故ですか?」と質問しました。彼はこう答えました。「対話とは向かい合って話し合うことであり、一対一でのコミュニケーションです。独り言をつぶやくより、また大勢で会話するよりも、発言に責任感が生まれ、より深い思考ができるので価値のあるコミュニケーションだと考えています…」そこで言うように「責任感」「より深い思考」「価値あるコミュニケーション」という大切な対話の基本姿勢が見られます。

これを見失うとこの継続はまったく魅力を失ったものになる危険を孕んでいます。しかし今までの展覧会を見ると伊藤彰剛、末房志野、高橋真理、小川雄太郎、御法川哲郎、千田昇平らは、高橋庸平に対して怒りを持って対決しているように、一瞬垣間見るときがありました。それこそがこの展覧会の最大の魅力だと思います。怒りこそエネルギーとなって、思考の深さと表現の声を創りだしています。

今までは一対一の対話(ダイアログ)展でありましたが、APMで行なう「イラストレーション・ダイアログ 6年間の試み」展は、それとは異なります。一対六の対話(ダイアログ)です。そこでさらに見えてくるものは何なのか?ぼくにはわかりません。おそらく大爆発があり、大議論へと進んでいくのではないのでしょうか。その創作者魂の一端を垣間見てほしいです。そこには魅力的な表現と言葉の応酬が待っています。(秋山孝/多摩美術大学・教授、APM館長)



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

秋山孝ポスター美術館 長岡

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8 TEL・FAX 0258-39-1233

E-mail info@apm-nagaoka.com http://apm-nagaoka.com

第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ 2/4
6年間の試み」展 プレスリリース vol.2

■ 展示内容

7名のアーティストの、過去6回の「イラストレーション対話展」出品作品と、それ以後の近作を併せたポスター作品約60点を展示いたします。

■ 参加アーティスト



高橋 庸平 TAKAHASHI Yohei

1981年 千葉県生まれ。2005年 多摩美術大学大学院デザイン専攻修了。同大学グラフィックデザイン学科助手を経て、現在、東京工科大学デザイン学部 助手。

受賞：FUKUDAポスター大賞2005 一般の部 最優秀賞、第2回東京装画賞2013 アルジョウィギンズ賞
国際参加展：ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ、モスクワ国際グラフィックデザインビエンナーレ、メキシコ国際ポスタービエンナーレ、ラハティ国際ポスタービエンナーレほか

URL <http://www.yoheitakahashi.com>



イラストレーション対話展6

第1回「シルエット」



伊藤 彰剛 Akitaka Ito

1979年神奈川県生まれ。2003年多摩美術大学グラフィックデザイン学科卒業。多摩美術大学非常勤講師。東京イラストレーターズ・ソサエティ (TIS) 会員。

受賞：ターナーACRYL AWARD 2004大賞。ノ入選：TIS公募 (第4回・第5回・第6回・第7回)、グラフィックアート『ひとつぼ展』 (第30回) 国際参加展：ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ (第22回、第24回)、ラハティ国際ポスタービエンナーレ (第18回、第19回)、Golden Bee モスクワ国際グラフィックデザインビエンナーレ (第9回、第10回)、世界ポスタートリエンナーレトヤマ (第10回) URL <http://www.akitakaaito.com/>



SILHOUETTE (RABBIT)

第2回「プリミティブとシンプル」

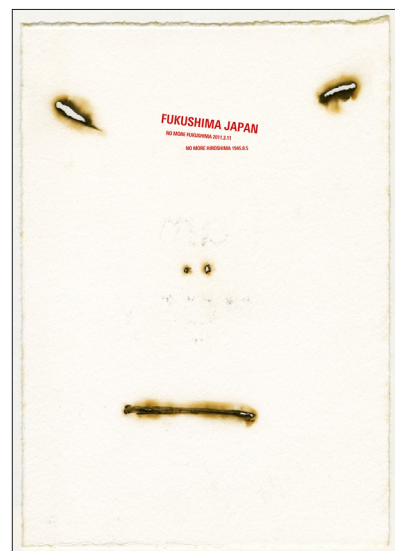


末房 志野 Shino Suefusa

1973年生まれ。1998年多摩美術大学グラフィックデザイン専攻卒業。2000年同大学大学院修了。2002年文化新進芸術家国内研修員。2003年東京藝術大学大学院後期博士課程学位 (美術) 取得。

受賞：第11回グラフィックアート3.3m3グランプリ受賞、第18回コロラド国際招待ポスター展グランプリ受賞 / 作品集：『発生の記憶』 (ISBN4902108062) / 作品収蔵：デンマーク国立デザイン美術館

URL <http://www.shinoyaki.com>



No more Hiroshima, No more



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

秋山孝ポスター美術館 長岡

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8 TEL・FAX 0258-39-1233

E-mail info@apm-nagaoka.com <http://apm-nagaoka.com>

第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ 3/4
6年間の試み」展 プレスリリース vol.2

第3回「メッセージ」



高橋 真理 Mari Takahashi

2007年多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業。

2009年同大学大学院美術研究科デザイン専攻修了。

入選：2009年第9回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2009（富山県）



sign

第4回「ポスター」



小川 雄太郎 Yutaro Ogawa

1985年東京都生まれ。2011年 多摩美術大学大学院デザイン専攻修了。

多摩美術大学生産デザイン学科テキスト専攻勤務（助手）。

受賞：飛騨国際メルヘンアニメコンテスト優秀賞、中国深圳ユニバーシアード
地下鉄ラッピングデザインコンペティション第3位／国際参加展：第7回メキシ
コ国際ポスタービエンナーレ、第9回モスクワ国際グラフィックデザインビ
エンナーレ、第22回ショーモン国際グラフィックデザインフェスティバル、第11
回香港国際ポスタートリエンナーレ、第5回中国国際ポスタービエンナーレ



イラストレーション対話展4

第5回「ポスターの機能と表現」



御法川 哲郎 Tetsuro Minorikawa

1976年埼玉県生まれ。2001年 多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン
学科卒業。長岡造形大学准教授。

受賞：アクリルアワード2005大賞、第1回東京装画賞2012審査員賞、第23
回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ金賞（ポーランド）、第2回東京装画賞
2013会員賞、グラフィックポスター年鑑2014プラチナメダル（アメリカ）／国際
参加展：世界ポスタートリエンナーレトヤマ（日本）、メキシコ国際ポスタービ
エンナーレ（メキシコ）、ゴールデンビー・モスクワ国際グラフィックデザイン
ビエンナーレ（ロシア）、ラハティ国際ポスタービエンナーレ（フィンランド）、
ボリビアポスタービエンナーレ（ボリビア）ほか
URL <http://www.minorikawa.net>



Masters of Poland Posters in Nagaoka

第6回「命の視点」



千田 昇平 Shohei Senda

1978年滋賀県生まれ。2003年多摩美術大学美術学部グラフィックデザイン学科卒業。
入選：第2回東京装画賞2013、第2回上海アジアグラフィックデザインビ
エンナーレ／展覧会：メッセージ・イラストレーション展（2002年・銀座・モン
スーラボ）、シュールレアリスム・イラストレーション展（2003年・多摩美術大学
デザイン棟ギャラリー）、シュールレアリスムポスター展（2005年・ギャラ
リーtray）、Illustration Studies ポストカード展（2007年・LAPNET
SHIP）、多摩美術大学×ポーランド・カトヴィツェ芸術アカデミー交流展
（2012年・多摩美術大学美術館）



APM



Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

秋山孝ポスター美術館 長岡

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8 TEL・FAX 0258-39-1233

E-mail info@apm-nagaoka.com http://apm-nagaoka.com

第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ 4/4
6年間の試み」展 プレスリリース vol.2

■ 基本情報

展覧会名：第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ 6年間の試み」展

期 間：2015年4月18日(土)～6月29日(月)

会 場：秋山孝ポスター美術館 長岡 新潟県長岡市宮内2-10-8

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

開館時間：am11:00～pm5:00(入館は閉館の30分前まで)

休 館 日：火曜日

入 館 料：無料

出 品 者：伊藤彰剛、小川雄太郎、末房志野、千田昇平、高橋真理、高橋庸平、御法川哲郎(50音順)

出品点数：約60点

お問合せ：秋山孝ポスター美術館 長岡 TEL 0258-39-1233

■ 関連イベント

● 第27回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて1」

日 時：4月18日(土) pm3:00～4:30

講 師：高橋庸平、伊藤彰剛、末房志野、高橋真理、秋山孝

受 講 料：無料

● 懇親会

日 時：4月18日(土) pm5:00～7:00

会 費：2,000円(学生1,000円)

● 第28回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて2」

日 時：5月30日(土) pm3:00～4:30

講 師：高橋庸平、小川雄太郎、御法川哲郎、千田昇平、秋山孝

受 講 料：無料

● 懇親会

日 時：5月30日(土) pm5:00～7:00

会 費：2,000円(学生1,000円)

・美術館大学へ参加ご希望の方は、美術館にメールまたは電話にて予約を入れてください。
TEL 0258-39-1233 / E-mail info@apm-nagaoka.com

・美術館大学の定員は40名ですのでお早めにお申し込み下さい。なお、当日は開始10分前までにお集まりください。

・懇親会は、美術館大学に参加できない方もぜひお越しください。

■ 取材及び広報用素材依頼を随時受け付けております。お気軽にお問合せください。

秋山孝ポスター美術館長岡 TEL 0258-39-1233 / E-mail info@apm-nagaoka.com